**院内がん登録について**

　院内がん登録とは、入院・外来を問わず、各病院で把握された全ての「がん（＝悪性腫瘍）」について、診断・治療・予後に関する情報を集め、整理・保管し、集計・分析を行う仕組みのことです。各施設で集められたデータは、統一された様式で、国立がん研究センターに定期的に提出しています。

　当院では、がん診療連携拠点病院の指定要件に則って、2007年1月1日以降に把握された「がん（＝悪性腫瘍）」を登録対象としております。１つの腫瘍に対して１例の登録ですが、登録された腫瘍の再発や転移については、登録対象とはなっておりません。また、脳腫瘍・下垂体腫瘍・髄膜腫については、原則として、良性であっても登録対象としております。さらに、セカンドオピニオンについても、登録対象としております。

以下に、当院の院内がん登録のデータを公開いたします。

**グラフ①　院内がん登録総件数の推移**

以下は、**2012年症例**のうち当院にて初回治療を行った**1544件**を分析しています。

**グラフ②　年齢層・性別件数**

※総数では男性が多いですが、59歳以下に関しては、女性が多いようです。

**グラフ③　患者居住地割合**

※八幡西区だけでなく、若松区・遠賀郡や他の地域からも多数の患者さんが受診されています。

**グラフ④　部位別割合**

※肺がんが最も多いですが、様々な種類のがん患者さんを診療しております。

**グラフ⑤-1　当院を受診するに至った経緯の件数・割合**

**グラフ⑤-2　がんを発見するに至った動機の件数・割合**

※自覚症状があってがんが見つかり、かかりつけ医や近くの病院からの紹介で、当院を受診された方が多いようです。

**グラフ⑥　主な部位の診断時のステージ割合（血液がん・リンパ腫と脳腫瘍は除く）**

**グラフ⑦　治療内容割合**

※症状やがんの種類、進行の程度に合わせて、様々な治療法適切に組み合わせて行っております。